

### 保育業界の課題をDXで解決 導入園合計年間約240日分 = 5754時間もの時間削減が可能に

株式会社ポピンズ(東京都渋谷区、代表取締役社長：轟 麻衣子)では、従来より「安い、きつい、長い」などと言われてきた保育士の処遇改善に向け、DXを通じ解決に取り組んでまいりました。このたび、コロナ禍により従来よりも体温測定的重要性が増した現状を踏まえ、DXを取り入れることでスタッフの軽減を構想。1月より自社開発アプリ「ポピンズメモリー」にシステム連携させ、株式会社hugmoの「hugsafetyスマート検温サービス」の導入を開始した結果、導入した110のポピンズのナーサリーにて年間約240日分(5754時間)もの業務削減が見込まれることが分かりました。

対象：導入園110施設

0歳児 729名(1日2回測定)、1歳児 1,008名(1日1回測定)

#### 【従来の方法】

- ①腋下で測る体温計で測定
- ②測定結果を紙媒体に記録
- ③連絡帳システムに手入力

腋下での測定には20秒ほどかかり、嫌がる・泣いてしまって再測定をしないで済まないケースも。  
測定と記録にお子様1人あたり**約40秒**

#### 【導入後の方法】

- ①非接触型体温計で測定
- ②アプリでお子様名選択
- ③転記ボタンで連絡帳システムに反映

測定時間約3秒、記録時間約2秒  
測定と記録にお子様1人あたり**約5秒**

#### 結果

体温測定1回あたり**35秒**の業務時間が削減可能。

**1園あたり月間約52時間、導入施設合計で年間約240日(5754時間)の削減見込。**



#### ■ 導入の背景

ポピンズでは保育現場での負荷の軽減を目指し、その一環としてこのたびの導入へと至りました。こうしたDXによる保育負荷の軽減は、保育士がお子様をより安全にお預かりし、ぬくもりのある質の高い時間を過ごすことに役立ちます。今後もポピンズは、DXによるイノベーションを通じ、機械には代替できない最高品質の保育を目指して参ります。